

「総合防災情報システム」共同構築に係る協定締結について

1 要旨・目的

総合防災情報システムを共同で構築するため、鳥取県と「総合防災情報システムの構築に関する協定」を締結する。

2 現状・背景

これまで、中国地方知事会において、システムの効率的な構築・運用について検討を進めてきた結果、広島県と鳥取県で共同構築・運用することとなった。

(都道府県間での共同構築・運用は全国初)

3 概要

(1) 協定締結の相手方

鳥取県

(2) 協定締結式

日 時	令和6年4月19日(金) 9:00~9:30(30分)
場 所	広島県庁 北館2階 第1会議室
出席者	鳥取県 知事 平井 伸治 広島県 知事 湯崎 英彦

4 総合防災情報システムについて

(1) 概要

災害時における必要な情報の収集、関係者間の情報共有及び県民への情報提供を行うシステムであり、今回構築するシステムにおいては、

- ・ 気象情報や被害情報など、各種情報を集約し、地図上へ重ね合わせて表示することで概況を視覚的に把握
- ・ 情報の自動連携による、関係機関への情報伝達・共有及び外部への情報発信など、新たな機能を有している。

(2) 共同運用のメリット

ア 両県及び県内市町村の広域応援の円滑化

→被災地域が県境を跨ぐ場合における、物資輸送等広域応援に係る意思決定の迅速化

イ 費用の低減

→構築に係る費用を両県で按分

(3) 構築費用

358,600千円(R6当初予算額)

(うち鳥取県・広島県の共同機能に係る構築費用 278,200千円)

(4) 運用開始時期

令和7年4月

総合防災情報システム導入後のイメージ

※下線のあるものは広島県独自連携システム

インプット(システム連携)

県庁 危機管理部局・市町

- 災害現場情報
- 施設被害情報
- 避難所情報

県民

- SNS投稿情報

県庁 土木建築局

- 観測情報 (DoboX)
- 道路規制情報 (DoboX)

県警

- 被害情報 (災害警備システム)
- 部隊情報 (災害警備システム)

他システム

- 気象・観測情報 (気象庁アデス)
- SIP4D...等

アウトプット

豪雨災害時検討情報一覧

- 雨量レーダー
- 土砂災害危険度
- 河川水位超過
- 避難情報発令状況
- 避難所開設状況
- 部隊活動情報 (警察)
- 部隊活動情報 (消防)
- 被害情報
- 高リスク箇所
- SNS収集情報
- 災害現場画像

Twitter
XX:XX投稿

MEMO :
XX地区にて床下浸水が始まっている箇所あり (XX市XX課)

危険

XX市XX川にて河川氾濫の危険があります

至急XX市に避難指示を発令してください

インプット

市町職員や関係機関 (消防等) から
スマホやシステム連携で情報を収集
メモ形式でGIS上に書き込みも可能
(運用詳細は今後調整)

市町職員・消防等

県職員, 市町職員が
同一の情報を基に
タイムラグなく対応

行政職員

アウトバウンド

県民向け防災情報

- 県民向けページ
- 県ホームページ
- メール配信サービス
- DoboX
- 民間アプリケーション

他機関向け防災情報

- 県警災害警備システム
- Lアラート
- 日本気象協会
- ウェザーニューズ
- SIP4D...等



県民・行政職員



他システム